



GSP JOURNAL

8号
2023/12/16

誠実にして社会に役立つ

社会に役立つ人間とはどのような人間かを一つに定義することはできません。知識や教養は必須の要素と言えるかもしれませんが、どれだけ賢くても傲慢で独善的な人間は社会に歓迎されることはないでしょう。一方で、知識や教養に加えて共感・協調・協働といった側面を備えていれば、どんな組織においても活躍することができるのではないかと思います。

GSPでは今月も実験やディスカッションを通して他者と意見を交換したり、問題を解決するために協働したりする講座が展開されました。社会に出ると、自分一人では対処できない問題に直面することが多々ありますが、このような場面で生かされる非認知能力を今後もGSPにおいて育成していきたいと思っています。



～今月のピックアップ講座～

『虹をまき散らして、
誰も知らない世界を見に行こう』

萩野正興天文方により、タジック・アース（直径2mの球形スクリーン）を用いて太陽や地球など、宇宙に関する講義が行われました。専門家による分かりやすい講義を受けることで、生徒たちは天体の不思議について理解を深めることができました。

日常の身近なところに学問はあふれていると心得るかな



【飼育員さんから学ぶ、動物たちの素顔と習性】
アニマルウェルフェアという言葉を知りました。客観的にみて、それぞれの動物にあった環境と食べ物で飼育してあげる事が大切だと分かりました。(1年生 S・N)



【受験現代文入門③】
東大の問題と聞いて、自分は太刀打ち出来るのだろうかと不安だったが、難関大の問題であっても解答構文は同じなんだと気づき、今の自分にも少しは書くことができると思った。また、言い換え力、要約する力、語彙力がとても重要だとわかった。(2年生 T・Y)



【皮膚の老化はなぜ起きる？】

老化には自然老化と光老化があり、光老化を防ぐためには日焼け止めは効果的だと分かりました。アメリカのバス運転手が左側だけ日光をあびていたから左側だけ老化したという例がとても印象に残りました。日焼け止めをしっかりと塗ろうと思いました。最後に日焼け止めをいただけ嬉しかったです。(2年生 M・Y)



【一歩先行く看護へ -看護理工学の世界-】

実験をしてみて看護理工学の考え方を身近に体験できた。私は採血が痛くて嫌だったので、スキンプロッキングという方法がもっと開発され、身近なものになればなと思いました。講師の方々が多く準備をしてくださり、いい機会をいただいたので感謝をしたい。(1年生 M・S)